問合せ

3055(948)2905 健康づくり課 **3**055(949)6820

国保年金課

い人は、 診または個別検診での受診が可能 者で、まだ受診をしていない人は、 くり課へお問い合わせください です。受診費用はすべて無料です。 **槓極的に受診しましょう。** 受診券(受診票)をお持ちでな 国保年金課または健康づ 集団検

今年度、それぞれの検診の対象

●肝炎ウィルス ほか●特定健診 ●各種がん

受診費用は無料です

追加検診の

●結核

	2 % 0 HL 1X	· »
検診名	対象者	検査項目
特定健診 (後期高齢者 健診)	伊豆の国市の国民健康保 険または後期高齢者医療 に加入している 40 歳以 上(昭和 47 年 3 月 31 日 以前に生まれた)の人	問診、身体測定、尿検査、血圧測定、血液検査
胃がん検診 大腸がん検診	伊豆の国市に住んでいる 35歳以上(昭和52年3 月31日以前に生まれた) の人	胃:バリウム検査 条件に該当する人は胃 カメラ検査 ※(個別検診のみ) 大腸:便潜血反応検査
肺がん 結核検診	伊豆の国市に住んでいる 40歳以上(昭和47年3 月31日以前に生まれた) の人	胸部レントゲン撮影
肝炎ウイルス 検査	伊豆の国市に住んでいる 40歳以上(昭和47年3 月31日以前に生まれた) で過去に受診したことが ない人	血液検査 *特定健診を受ける人 は、同じ血液で検査 ができます。
前立腺がん検診	伊豆の国市に住んでいる 50歳以上(昭和37年3 月31日以前に生まれた) の男性	

2 平 月成 15 24 日·

成返

29 日

結果返し

1 平 月成 11 24 日年

>身体測定(筋力) 対性など5種類) 対性など5種類)

よる運動

測定 ところ

柔

韮山福祉・保健センタ

9時30分~

嵵

30 分

(受付9時(

(金) まで

12月19日(月)~

月 6

両日に参加できる人

*測定日、 30人 (先着順)

結果返しの日の

とき・ところ 【集団検診】

申込み る場合は、 *がん検診 ▽12月14日(水)韮山福祉・保健センター ▽12月12日(月) 長岡保健センター(あやめ会館) *受付時間 申し込み不要です 特定健診(後期高齢者健診)を受診す 電話で申し込みをしてくださ 8時30分~10時30分 のみの場合

*申し込みは、通話料無料の専用ダイヤルをご **5**0120 (932) 618 利用ください

> *直接、 してください

【個別検診】

لح >特定健診、肝炎ウイルス検 指定の医療機関で受診 査・前立腺がん検診 き

>がん検診 12 月 1 日 26 日 医療機関に予約を (未 月 まで

健康への第一歩

体力ア ツ プ

教室

動実践&個別指導をします 動を、理学療法士・運動指導士が運 結果をもとに一人ひとりに合った運

筋力・柔軟性などを測定し、その

特定健診結果のお知らせ

eGFR50.0∼59. (中度の腎障害

366人 (8.5%)

伊豆の国市で今年の6月から8月に行った特定健診で、

糖尿病 になる危険が高い人が **202** 人 **添析**になる危険が高い人が**500**人

~あなたは大丈夫ですか?~

より、厚生労働大臣表彰の受賞と

今年の6~8月に、市で行った特定健診の結果を分析したと ころ、糖尿病の診断基準となる『HbA1c(ヘモグロビンエーワ ンシー)』が、糖尿病になる危険が高いとされる $6.1\sim6.4$ の人 は、健診受診者 4,293 人中、202 人いました。これは、健診受 診者の 4.7% にあたります。

この一歩手前で、特定保健指導の対象となる 5.2 ~ 6.0 の人 は 2,427 人で、健診受診者の 56.5% にもなります。

HbA1c 6.5 以上(糖尿病) 251 人(5.8%) HbA1c $6.1 \sim 6.4$ (糖尿病になる 危険が高い人 HbA1c 5.2 未満 202人 (4.7%) (正常) 1,413 人 (32.9%) 血糖値が正常な人 は32.9%だって HbA1c 5.2 ~ 6.0 (特定保健指導対象値) -2.427 人 (56.5%)

eGFR 30.0 ∼ 49.9 eGFR 30 未満 /(高度の腎臓病) 12 人(0.3%) (腎臓の専門医を 受診した方がよい) 122人 (2.8%)

eGFR 60.0 ∼ 89.9

2,660 人 (62.0%)

腎機能が正常な人

は26.4%なんだね

(軽度の腎障害)

今年の9月に放送されたNHK『ためしてガッテン』で、腎臓 正常) がどのくらい機能しているかの割合を示す値として紹介されて 1,133 人 (26.4%)_{いた『eGFR』という値があります。この値はクレアチニン検査} の値から算出します。

今年の特定健診では、この値が60未満の人は、健診受診者 4,293 人中 500 人いました。これは、健診受診者の 11.6%にあ たります。

糖尿病も、腎機能障害も、重篤になると日常生活に支障をきた す恐ろしい病気です。しかし、これらの病気のほとんどは、重篤 になるまで自覚症状がありません。

毎年、健診を受けて値をチェックし、生活習慣病の危険がないか、 また、生活習慣病の危険がある場合は、早めに生活習慣を見直し たり、治療を受けたりすることが、とても重要です。

問合せ

国保年金課 ☎ 055-948-2905

問合せ 国保年金課

948

29

0

厚生労働大臣表彰を受賞した 櫻田修先生 (江間クリニック)

な運営に大きく貢献された功績に にわたり国民健康保険事業の健全 てきました。 ついて行政との密なる連携によ 運営協議会委員として23年余り 各種事業の円滑な推進に努め 市民の健康管理や疾病予防に

が受賞されました 櫻田修先生(江間クリニック) 市となってからも健診事業をはじ 会の委員に就任。以来、 伊豆長岡町国民健康保険運営協議 厚生労働大臣表彰 櫻田先生は、昭和6年5月に旧 伊豆の国

15 2011.12.1 いずのくに

申込み・問合せ

※室内シューズなど持ち物の詳細は

し込みの際ご確認ください

※病院で治療中の人は、

主治医の

可が必要です